

### 3教科B方式 日本史

#### (I)

##### 【解答】

問1 ア 日本書紀 イ 藤原基経 ウ 醍醐 エ 藤原道長 オ 清少納言

問2 (a) ① (b) ④ (c) ④ (d) ② (e) ③ (f) ② (g) ③ (h) ② (i) ③ (j) ④  
(k) ② (l) ③ (m) ③ (n) ② (o) ④

##### 【講評】

奈良～平安時代の歴史史料に関する文章を読み、この時代の政治・社会・文化についての設問に答える問題です。問1の空欄補充は、いずれもごく基本的な事項であり、よくできていました。マーク式の問2では、(a)・(f)・(h)・(i)・(m)の正答率が50%を下回っていました。(a)は実質的には『古事記』と『日本書紀』の前後関係を尋ねるものです。(f)は選択肢③と正解②との間で迷った受験生が多かったようで、吉備真備の帰国がいつ頃かの判断はやや難しかったかもしれません。(h)のような問題では教科書の地図を見ているかどうかが重要となります。(i)はそれほど難しい問題ではありませんが、④を選ぶ受験生がかなり多かったです。(m)の誤り③については、いわゆる寄進地系荘園で、地方の豪族は寄進する側であり、寄進されて荘園を所有した貴族や寺社が本家・領家などと呼ばれたという点を理解しておく必要があります。

#### (II)

##### 【解答】

第一問 問1 承久の乱 問2 寄

第二問 問3 ③ 問4 ② 問5 ①

第三問 問6 ② 問7 ① 問8 ② 問9 ③ 問10 ③ 問11 ④ 問12 ④ 問13 ②

##### 【講評】

第二問の3題はそれぞれ連関して答える問題でしたが、総じて正答率が低かったようです。紛らわしい人名は、それぞれ正確にキーポイントを理解しておく必要があります。

第三問の中では、問11と問12の正答率が低かったです。問11の正答は「奉公衆」となります。あまり馴染みのない言葉ではありますが、教科書によってはゴシック体になっている用語でもあります。問12は③か④が難しいところで、実際に、誤答の多くは③を選んだものでした。やはり、紛らわしい用語については正確にキーポイントを押さえておく必要があります。

#### (III)

##### 【解答】

第1問 (1) ② (2) ⑤ (3) ① (4) ③ (5) ④

第2問 (6) ② (7) ③ (8) ④ (9) ③ (10) ③ (11) ④ (12) ① (13) ② (14) ④ (15) ①

##### 【講評】

第1問は互いに連関し合う問題でしたが、正答率はきわめて高かったです。

正答率が低かったのは第2問の(6)(14)(15)でした。(6)は日光東照宮との引っかけ問題でしたが、実際に「④栃木県」を選ぶ誤答が非常に目立ちました。(14)(15)は、それぞれ紛らわしい選択肢を並べた問題でした。並べ方としては、参考書などのテスト問題にありがちなものとなりましたので、事前の繰り返し勉強が必要とされます。

#### (IV)

##### 【解答】

問1 ア 佐久間象山 イ 日本海(対馬) ウ 飛脚 エ 東京 オ 日本放送

問2 a ① b ③ c ② d ③ e ③ f ⑤ g ④ h ② i ③ j ④

##### 【講評】

日本近代における通信に関する問題です。問1のイ～オは正答率が高かったですが、アの「佐久間象山」の正答者は僅かしかいませんでした。問2 a～jの小問はaの電信開業の年次を問う設問の正答率が低かったです。cの前島密は印象的な名前のおかげ、正答率が高かったです。